

2025年9月4日

福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム

フロンティア・マガジン第3弾公開。

「福島浜通りから、世界に誇る食文化を。」

～今月のニュース：スタートアップ最大級のカンファレンス「ICCサミット」にてふくふく醸造がSAKE AWARD優勝、福島浜通りチームが「ローカル・コネクテッド」優勝のW優勝、他～



今春発足した、福島県浜通り地域の18社で構成される「福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム」は、地域に根ざした挑戦を社会に広く発信する『福島浜通りフロンティア・マガジン』の第3弾を公開しました。

▼noteページ：https://note.com/frontier_pr/n/n8b4ed003c397

今回のテーマは「福島浜通りから、世界に誇る食文化を。」

東日本大震災の大きなダメージから立ち上がり、世界に誇る食のブランド地域を本気で目指しているこの地域で、9月3日より始まった、地域外のシェフを呼び、地域に新たな「食」の体験を創る”シェフ・イン・レジデンス”プロジェクト『インスピレーション⇄キッチン』についてです。

今月のニュースでは、スタートアップ最大級のカンファレンス「ICCサミットKYOTO 2025」のSAKE AWARDでふくふく醸造(南相馬市)が優勝、「ローカル・コネクテッド」セッションのピッチ・コンテストにて福島浜通りチームが優勝、など最新ニュースをお伝えします。

また、今月の「浜通り起業家インタビュー」では、南相馬市で映画・アート・食など様々なカルチャーを基軸とした「地域のアソビ」を仕掛ける、wind & soil代表の根本李安奈さんを取り上げます。



1 | 『浜通りフロンティア・マガジン』第3弾

「福島浜通りから、世界に誇る食文化を。」

▼公開ページ: https://note.com/frontier_pr/n/n8b4ed003c397

世界に誇る食のブランド地域を本気で目指しているこの地域で、9月3日より始まった、地域外のシェフを呼び、地域に新たな「食」の体験を創る「シェフ・イン・レジデンス」プロジェクト『インスピレーション⇄キッチン』について伝えます。

【今回の寄稿者】

・根本李安奈 (wind & soil 代表／南相馬市小高区)

「文化の自治」を掲げて、映画、アート、食など様々なカルチャーを基軸とした「地域のアソビ」を仕掛ける。



1996年 南相馬市小高区生まれ。
震災当時は中学3年生。大学では映画制作を学び、都内の広告会社に就職。2020年コロナ禍で働き方を見直し、2021年2月に小高にUターン。

「都市に依存しない若者を増やす」ため、エンタメ・学び・食などを企画するイベント事業wind&soilを運営。また、地域の撮影の誘致などを行う一般社団法人相双フィルムコミッショング代表理事も務める。

根本李安奈 (ねもとりあな)
wind & soil 代表

2 | 今月のニュース：

■ICCサミットにて、ふくふく醸造(南相馬市)が「ICC SAKE AWARD」優勝、福島浜通りチームが「ローカルコネクテッド」で優勝のダブル優勝



▲ICC SAKE AWARDで優勝したふくふく醸造の(左から)内記朋治さん、立川哲之さん、町田さくらさん

スタートアップ最大級のカンファレンス「ICCサミットKYOTO 2025」において、9月3日に開催された「ICC SAKE AWARD」にて、本コンソーシアムにも参加している、ふくふく醸造(南相馬市)が優勝しました。

「SAKE AWARD」には全国から13の酒蔵等が参加し、酒のスペシャリストや愛好家で構成される審査員による投票を通じて審査が行われました。

URL:https://drive.google.com/file/d/1a3D4GcbKdnMCwMYWGoUHsFUcQsP70JXI/view?usp=drive_link



▲ICCサミット「ローカル・コネクテッド」で優勝した福島浜通りチームの(左から)和田智行さん、高橋大就さん、佐藤太亮さん

また、同日、「ICCサミットKYOTO 2025」の「ローカル・コネクテッド」セッションのプレゼンコンテストにおいて、本コンソーシアムにも参加している、和田智行(OWB)、高橋大就(ノーマの谷/ NoMAラボ/ 東の食の会)、佐藤太亮(haccoba)の3名からなる福島浜通りチームが優勝しました。

「ローカル・コネクテッド」は、全国からさまざまな起業家たちが集まるICCサミットで、地域の魅力と、もし起業家が訪れるならどんな学びがあるかをプレゼンし、最後には会場に集まった参加者たちが、どの地域を訪れたいかを投票で決定します。投票で決まった優勝地区を「コネクテッド」関係者が訪問して、その土地を学ぶツアーや議論、交流をすることで、地域をより深く知り、課題解決や共創を考え、自分の地域にも持ち帰ります。

福島浜通りチームは、『世界で唯一のフロンティア“福島浜通り”ヘダイブする旅』と題したプレゼンテーションを行い、大きな反響を呼び、参加した4チームの中で見事優勝を果たしました。

■地域に新たな食の魅力を提供する"シェフインレジデンス" プログラムである『インスピレーション△キッチン』9月3日より開始

今月のフロンティア・マガジンでも取り上げた、wind & soilによる地域に新たな食の魅力を提供する"シェフインレジデンス" プログラム『インスピレーション△キッチン』が9月3日より開始されました。

URL:https://drive.google.com/file/d/1dob9xR0ga8Jn2ZpjHOfSoFqjNJ-hhRcu/view?usp=drive_link

■地域課題を見つける滞在型のインターンの成果報告会を9月13日に開催

本コンソーシアムにも参加しているOWB株式会社(南相馬市)による、南相馬市小高区で地域課題を見つける滞在型のインターンプログラムに福島県外から参加した5名の学生が、9月13日、滞在期間中に得た調査内容や考察を発表します。

URL:https://drive.google.com/file/d/1Spawl-I7R1-NIN3srWrTXh4G8HMPrkB/view?usp=drive_link

■現代のサムライと出会う1泊2日サイクリング体験「SAMURIDE」を9月27・28日に開催

本コンソーシアムにも参加しているRabbit & Turtle株式会社(富岡町)は、近畿日本ツーリスト株式会社および颶サイクルとともに、サイクリングを通じて相馬藩の歴史と文化をめぐる新感覚のツアーアクティビティ「SAMURIDE ~海風を感じる旧相馬藩で現代のサムライに出会う旅~」を9月27・28日の1泊2日で実施します。

URL:https://drive.google.com/file/d/1rPg2P8bhSutdbxBLAt0Ap7PEvkL-jiOG/view?usp=drive_link

3 | 今月の起業家:

wind & soil 代表 根本李安奈 氏(南相馬市)

■プロフィール

根本李安奈(ねもと・りあな)

1996年南相馬市小高区生まれ。震災当時は中学3年生。大学では映画制作を学び、都内の広告会社に就職。2020年コロナ禍で働き方を見直し、2021年2月に小高にUターン。一般社団法人相双フィルムコミッション代表。地域で活用できる“場づくりのコンテンツ(アソビ)を企画・提供するwind&soilも代表を務める。



■起業のきっかけと地域への想い

私は「wind&soil」と「相双フィルムコミッション」という2つの事業を行なっています。どちらも、地域外の人と地域の中で活動する人をつなぐ役割を担っています。浜通りは、震災をきっかけに地域にこれまでいなかつたような人が関わることで、新たな魅力や新しいチャレンジが生まれている場所です。自分も、食や映画、エンタメといった楽しいコンテンツを生み出すことで、地域に暮らす人が「ここに住んでいて楽しい」と感じられるような仕組みをつくることが、自分の役割だと思っています。



■ 事業の内容と社会的意義

浜通りでは、まだまだ文化的な活動の「場」が少ないと感じています。でもそれは、裏を返せば挑戦の余地があるということ。現在は、アートプロジェクトの企画運営を軸に、地域の課題解決やコミュニティ支援も手がけています。

特に力を入れているのが、人が集い、考え、関係性を育てられるような“場”づくりです。こうした場が、地域外からの来訪者がこの地を訪れる理由となり、地元住民との新しい出会いを生み出す。そんな空間と時間を生み出すことが、“文化としての復興”のかたちだと思っています。

■ 困難とそれを突破したエピソード

自分が「あつたらいいな」と思うものをつくることをしてきました。まだ存在しない新たな仕組みや場を生み出すのは確かに大変です。ですが、一歩踏み出して形にしてみると、想像もしなかった出会いや、新しい景色が広がってくることが、おもしろいです。

■ 仲間・コミュニティとの関係

2つの事業では、それぞれにチームを組んで活動しています。自分のやりたいことを一方的に伝えるだけでなく、チームメンバーが思う「こんなことがあつたらいいな」も一緒に実現していくことが大切だと考えています。最終的に目指しているビジョンや価値観が一致していれば、同じ船で共創できると考えます。

■ 今後の展望

浜通りは特殊な背景を持つ地域だからこそ、ここでしか生まれないものがあると感じています。多くの人が想いを寄せ、力を注いできた地域だからこそ、生み出されたものをここだけにとどめるのではなく、他の地域にも還元できる形にしていきたいです。また他の地域と共創しながら、新しい価値を一緒に育てていくことができればと思います。

■ 起業家個人としての価値観・哲学

私のモチベーションは、普段から一緒に遊んでくれる地域の人たちが笑顔になってくれることです。大きなことではなくても、日常の中で「楽しいな」と感じてもらったり、少しでも暮らしの潤いになるようなことを提供できたときに、喜びを感じます。



■「福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム」とは

福島県浜通り地域で活動する起業家18社が連携し、地域の魅力や新たな取り組みを広く発信し、自立した地域コミュニティという新しい社会モデルを全国に広げることを目的とした組織です。各社のシナジーを活かし、地域の活性化と持続可能な発展を目指し、最新の浜通り情報を毎月発信しています。

(発足時プレスリリース:
https://prone.jp/press_releases/6178)



- ・参加企業: 18社
 - OWB株式会社 [南相馬市]
<https://owb.jp>
 - 株式会社 haccoba [南相馬市]
<https://haccoba.com/>
 - 株式会社ふくふく醸造 [南相馬市]
<https://www.instagram.com/pukupukubrewing/>
 - wind & soil [南相馬市]
<https://wind-and-soil.jp/>
 - marutt株式会社 [南相馬市]
https://note.com/marutt_design / https://www.instagram.com/tubutubu_odaka/
 - 一般社団法人 Horse Value [南相馬市]
<https://www.horsevalue.jp/>
 - 株式会社MARBLiNG [飯舘村]
<https://www.zuttosoko.com/>
 - 株式会社 浪江商事(なみえアベンジャーズ) [浪江町]
<https://www.instagram.com/namie.avengers/>
 - ジョワイストロナミエ [浪江町]
<https://www.instagram.com/joyeuxstronamie/>
 - 一般社団法人NoMAラボ [浪江町]
<https://noma-lab.jp/>
 - 一般社団法人SOMA (ノーマの谷) [浪江町]
<https://nomavalley.jp/>
 - NPO法人 相馬救援隊 [浪江町]
<https://www.instagram.com/sart34org/>
 - 一般社団法人F-ATRAs [双葉町]
<https://f-discover.com>
 - NPO法人インビジブル [富岡町]

<https://invisible.tokyo/>

- Rabbit & Turtle 株式会社 [富岡町]

https://libertypark.jp/rabbit-turtle_company/

- 株式会社 ワンダーファーム [いわき市]

<http://www.wonder-farm.co.jp/>

- 一般社団法人Hamadoori 13 [福島県浜通り地域全般]

<https://hamadoori13.or.jp/>

- 一般社団法人 東の食の会 [東北全般]

<https://www.higashi-no-shoku-no-kai.jp/>

・本件に関するお問い合わせ先

福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム事務局

担当:高橋 Email: info@noma-lab.jp